

高田っ子倶楽部通信

特定非営利活動法人高田っ子倶楽部 〒737-2303 広島県江田島市能美町高田 3093-1 Tel0823-45-2422

第23号 (2019年4月)

時代は「平成」から「令和」に！



4月30日の天皇陛下の退位と新天皇の即位に伴い、時代は「平成」から「令和」に変わります。「令和」には人々が美しく、心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」との説明がありました。(出典は「万葉集」)
これを聞いて“山むらさきに 海深くして 能美島第一の文化村～♪”と歌う高田小学校校歌を思い出しました。

古き良き伝統を重んじ、新しいものにチャレンジしていく、そんな「令和」の時代にしていきたいものです。

高田っ子倶楽部は「輝いている子どもたちとともに作るまちづくり！」がテーマです。高田交流プラザも開館しました。まちづくり協議会と共に高田交流プラザを有効に活用し、元気な高田のまちづくりを目指します！



3/23 高田再発見ウォーキング&お花見会！報告

「みんなと高田の自然を見て回り、おもしろいものを見つけて、高田への関心を深めよう!!自然を感じた後は、みんなで楽しもう!!」をテーマに呼びかけ、当日はたくさん的高田っ子・保護者が集まりました。

集まったみんなには、初めに新学期の目標などを発表してもらいました。そのあとグループに分かれて、地図を持って出発！地図を見てルートを探りながら、途中で指定された「ふしぎなもの」「星形のもの」「紫色のもの」…などをさがしながら高田を歩きました。

交流プラザに到着後、それぞれ見つけたきれいなもの・おもしろいものを発表しました。発表ごとに「お～っ!」、とお互いの観察力に脱帽でした。その後も元気にドッジビーをして、最後にカレーを食べて楽しく終えることができました。

今年の桜は遅く、お花見とはいきませんが、アダプト活動で植えたプランターのチューリップも咲き始め、春を感じることができました。



雪あそびツアーで雪三昧！



2月10日(日)に雪あそびツアーを開催しました。当日まで、雪が降らない状況が続きましたが、奇跡的にツアーの前後のみ雪が降り、参加した人たちにとっては、ほんと～に最高の一日になりました！



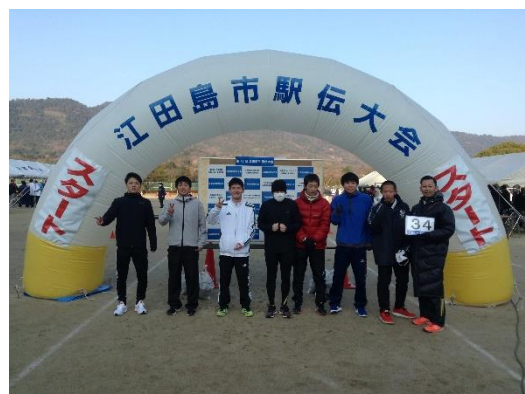
江田島市駅伝 結果報告

2月17日(日)に行われた江田島市駅伝に今年も「Team TAKATA (チーム たかた)」として参加しました。メンバー全員が高田っ子らしく全力で江田島路を駆け抜けました！結果は、市内男子の部で**14位**でした！

1区 岡田健瑠くん 2区 山岡菜汰くん
3区 柿木望亜くん 4区 吉武 徹さん
5区 江藤義弘さん 6区 森下 凜くん
7区 濱先勇哉くん

みなさん熱い声援

ありがとうございました！



手づくり市へのご協力をお願い



5月5日(祝)光源寺で『第14回 えたじま手づくり市』が行われます。今回も大豆うどんとかき氷を販売しますので、お手伝いいただける方は午前8時から午後3時までの間で都合のよい時間帯に来てください。

仲間と共にワイワイ楽しい時間を過ごしましょう！

会員の皆様へ 高田っ子倶楽部総会のご案内

6月1日(土)18時～ 2019年度高田っ子倶楽部総会ならびに懇親会を開催します。決算報告や今年度の事業内容について協議します。つきましては、会報配布担当者が出欠席の確認を行いますので、やむを得ず欠席される場合には、委任状を提出してください。また併せて会費の徴収も行いますので、よろしく願いいたします。

新連載 高田今昔物語（たかたこんじゃくものがたり）

今回から始まる高田今昔物語。高田ヒストリアでは聞けなかった話をこれからの通信でお伝えするコーナーです。高田のみなさんがこのコーナーで少しでも高田の歴史に関心を持っていただけると幸いです。

今回は右の写真から。この写真を見てください。どこか分かりますか？

これは、今の高田棧橋です。その証拠に中央上に記念碑が見えます。ここから、高田の繁華街へ足を進めていきましょう。山本呉服店、海漕店山崎、木原旅館、亀田石屋、高木の油屋、亀田と高木の間にはおでん屋さんもありました。さらに足を進めると、岡田の醤油屋、山根の雑貨屋、高田の賑わいが目に見えるようですね。（水島頼さんからの聞取）



**** 第12回 「けせんぬま通信」 ****

御礼

朝の眩しい陽光を背中に受け、一筋の白い航跡を描きながら大島を出港する渡船。明治三十九年、宮城県知事から渡船業の免許を受けて一三三年余、株式会社を設立してから七十一年の長きにわたり日々描いていた大島定期航路の航跡もここに終焉を迎えました。これまで航路を維持してきた「力」の源泉は、お客様一人ひとりのご理解と温かいお気持ちの賜でありここに改めて感謝申し上げます。

思い起こせば、手漕ぎ船から巡航船と呼ばれた座敷客室の木造船の時代にはじまり、戦時中の燃油不足の苦難の時代、戦後復興、高度成長期の活気ある昭和の頃、そんな時代を経て、カーフェリー導入の時代へと変遷しながら、生活上の一助と利便性向上に努めつつ、皆様の多くの思いも運んで参りました。

そのなかでも平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災。全てが被災、航路は機能不全に陥りました。この事態は大島の孤立を意味しており、一日でも早い航路再開に向けて邁進しました。結果借用した船により震災十八日後の三月二十九日には営業運航の再開、さらに四十七日後の四月二十七日には広島県江田島市から無償貸与のカーフェリーによって運航も再開しました。江田島市の皆様への感謝の気持ちはこの後も忘れられることはないでしょう。

決して平穩とはいえない山あり谷ありの大島航路の歴史ではありましたが、この生業をはじめから一年三六五日休むことなく安全運航に努めて参りました。

今日までこの大島で事業を継続出来たことを役員一同誇りに感じております。

最後に今日まで大島航路を全面で支えて頂きました造船、機械、船舶部材、電装、塗装、燃料等々ここではお伝え出来ない多くの関係者の皆様に、失礼とは存じますがこの紙面をお借りして感謝申し上げます。

本当にありがとうございます。

明治、大正、昭和、そして平成最後の世を歩み新元号「令和」の時代をまもなく迎える平成三十一年四月七日、無事、最終航海を終えました。

ご利用頂きました全てのお客様、関係者の皆様の益々のご長期間、ありがとうございます。

「令和」の時代に新たな大島汽船として船出します。



大島汽船株式会社
代表取締役 白幡昇一
従業員一同

今回は毎年絵馬を贈っている大島のお話です。

ここは、離島（橋がない島）でした。2019年4月7日、この島にも橋がかかりました。これに伴いフェリーなどの航路は廃止になりました。

大島の人たちの思い、どんなものでしょうか？地元紙の三陸新報の4月9日付けの1面に広告が載っていました。島の人たちにとって震災と合わせて江田島市という街から来たフェリーは忘れられないものとなったようです。

（古居）

新規会員募集中！

～いっしょに“高田”を盛り上げましょう～

NPO法人高田っ子倶楽部は「輝いている子どもたちとともにつくるまちづくり！」をテーマとして、子どもたちに体験と交流の場を提供しています。



☆☆☆ これまでの主な活動 ☆☆☆

- 5月 手づくり市・高田っ子倶楽部総会
- 6月 高田っ子倶楽部総会・カープ観戦・さつまいも苗植え
- 8月 アダプト活動・キャンプ
- 10月 いも掘り体験・秋の遠足（動物園・水族館）
- 11月 手づくり市・芸術鑑賞・サンフレッチェ観戦
- 12月 アダプト活動・絵馬づくり・忘年会
- 1月 とんど祭り
- 2月 雪あそびツアー・江田島市駅伝
- 3月 高田再発見ウォーキング
- 年間 高田ヒストリア

2019年度の活動については総会で決定します。

会員は、上記行事等に無料（行事によっては有料ですが高田っ子倶楽部からの補助があります）で参加できます。

〇〇〇 会費について 〇〇〇

	入会金	年会費
正会員（個人・団体）	1,000円	1,000円
準会員（収入を得ていない青少年）	0円	0円

※賛助会員（個人・団体）も随時受け付けております。
お問い合わせは大下（☎0823-45-0005）まで。

この通信は年4回（1・4・7・10月）に発行します。今後も高田っ子倶楽部の活動を地域の皆さんにも知っていただけるようお伝えしていきます！

ホームページにも色々な情報を掲載していますのでご覧ください！

<http://takatakkoclub.jimdo.com/>